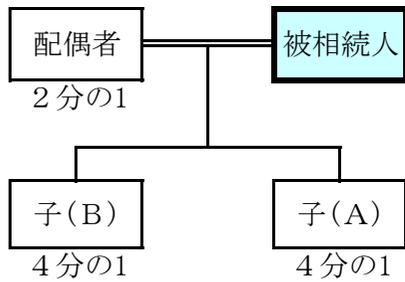


●資料●

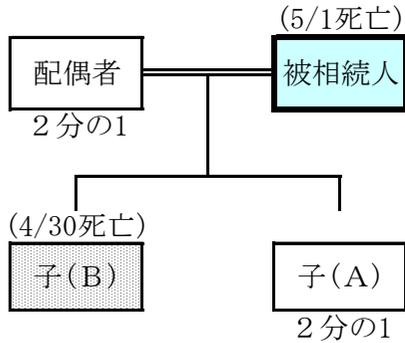
【相続分】配偶者は常に相続人となります。その相続分は、血族相続人が誰になるかで異なります。  
第一順位：子 → 第二順位：直系尊属(親) → 第三順位：兄弟姉妹

主な例  
《例1》



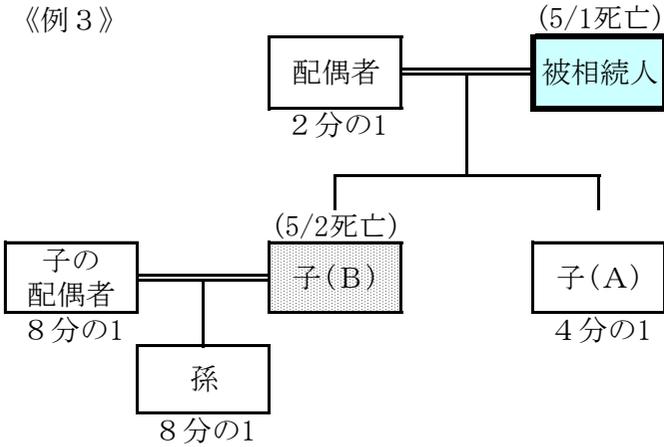
※配偶者は2分の1、残りの2分の1を子で分けることになる。

《例2》



※子(B)は被相続人の死亡前に死亡しているため、相続できない。配偶者と子(A)が相続することになる。

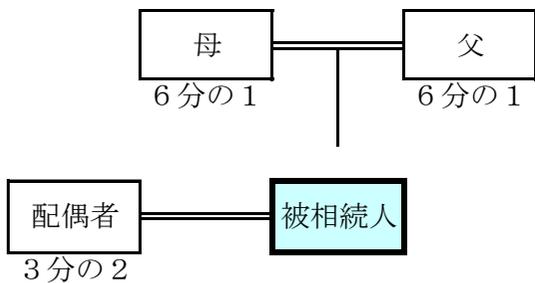
《例3》



※子(B)は被相続人の死亡後に死亡のため、子(B)の持分は子(B)の妻と孫で分けることになる。(例1に同じ)

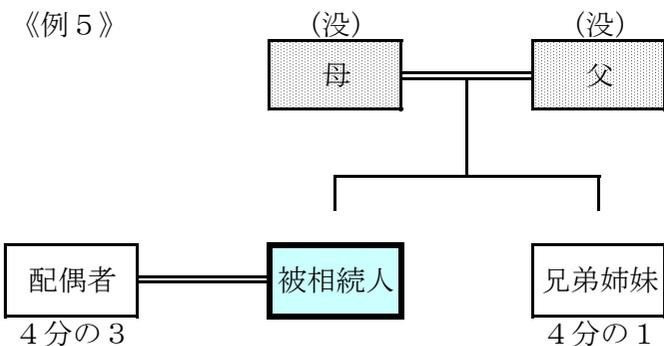
※もし子(B)が、被相続人の死亡前にすでに死亡している場合は、代襲相続となり、子(B)の持分4分の1が、その子(被相続人から見ると孫)に引き継がれる。その場合、子(B)の配偶者には相続権がない。

《例4》



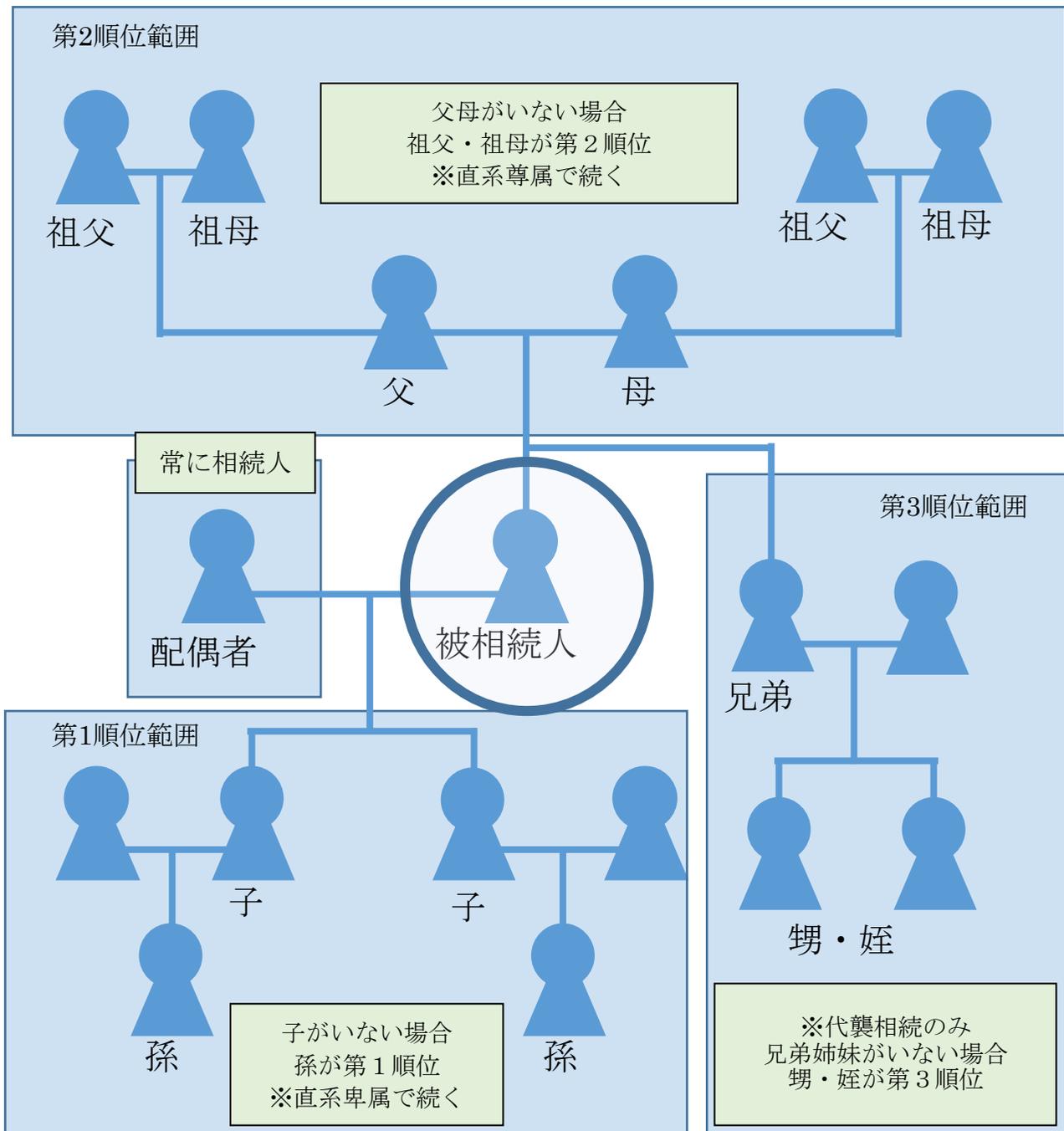
※子がない場合、配偶者と父母が相続人となる。その際の相続分は配偶者3分の2、父母3分の1となる。(父母は3分の1を二人で割る)

《例5》



※子も父母もない場合、配偶者と兄弟姉妹が相続人となる。その際の相続分は、配偶者4分の3、兄弟姉妹4分の1となる。(兄弟姉妹が複数いる場合は4分の1をその人数で割る)

# 相続順位図



- 1 配偶者がいる場合
  - ① 配偶者 + 第1順位範囲
  - ② 配偶者 + 第2順位範囲
  - ③ 配偶者 + 第3順位範囲
  - ④ 配偶者
- 2 配偶者がいない場合
  - ⑤ 第1順位範囲
  - ⑥ 第2順位範囲
  - ⑦ 第3順位範囲

代襲相続と数次相続に注意すること。

**代襲相続**・・・ 被相続人の死亡以前に被相続人の子や兄弟姉妹が死亡等により相続権を失っていた場合に発生する相続

**数次相続**・・・ 相続が2回以上重なって発生してしまった状態のこと。